

筑波大学 社会・国際学群 社会学類

令和8年度 推薦入学試験

筆記試験問題冊子

(注意事項)

1. 問題冊子1部、解答用紙2枚が配られているか、確認してください。
2. 解答用紙の所定欄に、受験学群・学類、氏名、受験番号を記入してください。
これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
3. 解答用紙については、下書き用紙をはずして使用してください（下書き用紙は回収しませんので、自由に使って結構です）。解答は、原則として横書きとします。なお、表題をつけるかつけないかは、解答者の判断に任せます。

【資料】は、結婚制度廃止論に立つ研究者が一般読者向けにオンライン記事として示した文章である。

<問題 1><問題 2>の双方に答えなさい。

<問題 1> 資料では、誰が家族に含まれるかを法的に決定することについて議論がなされています。執筆者の考えを要約しなさい。その上で、あなたが考える法と愛とのあるべき関係を論じなさい。(どのような立場をとっても、評価に影響はありません。)

<問題 2> 結婚制度の廃止がなされた場合、社会において生じうる具体的なリスクとそれありうる克服の方途を論じなさい。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

出典：松田和樹「愛のために「結婚制度」はもう廃止したほうがいい、法哲学者の私がそう
考える理由：法と家族について真剣に考えるために」現代ビジネス 2022.02.11 付
<https://gendai.media/articles/-/92323> (2025年9月20日アクセス)
なお、問題作成にあたり、一部文章等を削除した。また、節番号および [] 内の補足を加えた。